

江東区総合区民センター

関東大震災から100年 2つの企画展

今年は関東大震災から100年の節目に当たります。江東区は当時の深川区の8割以上を焼失するなど、区内全域で甚大な被害を受けました。江東区文化コミュニティ財団では、関東大震災を振り返るさまざまな事業を行います。

総合区民センターでは2つの企画展「関東大震災からの復興」(8/16～26)、「『次の日』に備えて復興小公園を造る」(8/29～9/6)を開催します。

関東大震災から100年企画展『関東大震災からの復興』

江東区域でも甚大な被害があった「関東大震災」関東大震災前・直後の写真と、江東区在住の写真家・鷹野晃氏が撮影した写真をパネル展示します。

日時：2023年8月16日(水)～26日(土) 9:00～21:00 (最終日15:00終了)

会場：江東区総合区民センター(江東区大島4-5-1)2階展示ホール

料金：入場無料 当日直接会場へ



鉄骨を残して焼失した永代橋



現在の永代橋(撮影：鷹野晃)

1923年(大正12)9月1日、土曜日、午前11時58分44秒。ゆっくりとした揺れは15秒後に激しくなり、約2分間続いた。昼食の時間帯だったこともあり、七輪やかまどには火がおきていた。要所で燃え広がった火は強風の影響で飛び火となり、およそ3日間東京を焼き尽くした。死者行方不明者は約10万5千人(焼死が約9割)、全壊・全焼家屋は約29万棟、半壊約10万2千棟。あの「関東大震災」から100年。被災時や復興途上の貴重な写真に、定点で比較可能な場所では今を撮影した。「東京はいかに復興したのか」

ご覧になった方々が自由に感じていただけたら、と思っている。

鷹野 晃

この度貴社媒体でぜひ本事業をお取り扱い頂きたく情報をご案内させていただきました。取材していただける場合は、ご一報いただけましたら幸いです。

【発信元】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

管理課広報担当：村田、伊藤 TEL. 03-3644-8119

文コミ財団メモ

写真家 鷹野晃（たかの あきら）プロフィール

1960年 札幌生まれ。1995年 写真展「東京の屋上」をミノルタフォトスペース新宿にて開催。2012年 写真展「東京屋上散歩」を3331Arts Chiyoda 1Fギャラリーにて開催。2016年 写真展「東京定点写真 ～夕暮れと100年散歩～」をソニーイメージングギャラリー銀座にて開催。2019年12月 生誕250年記念写真展「ベートーヴェン への旅」をソニーイメージングギャラリー銀座にて開催。2020年7月 パネル写真展「江戸東京時空散歩 浮世絵と写真で見る今昔」を豊洲シビックセンター1階ギャラリーにて開催。

主に人物ポートレート、旅の撮影を雑誌・企業PR誌などを中心に活動。ライフワークとして東京を独自の視点で撮り続けている。NHKの番組「美の壺」「ジャパノロジープラス」などに夕暮れや屋上散歩の案内人として出演。2013年から写真倶楽部「フォト森下」で講師を担当 2022年から写真サークル「江戸東京散歩」を主宰。

著書 「夕暮れ東京」淡交社/2007年 「東京屋上散歩」淡交社/2012年
「浮世絵と写真で歩く 江戸東京散歩」KADOKAWA/2019年 電子版も



鷹野晃

関東大震災から100年企画展「次のその日」に備えて復興小公園を造る

関東大震災の教訓から、惨禍を小さくするため、東京市が復興小公園を開設、旧深川区内に今も引き継がれる七つの小公園について紹介します。

日時：2023年8月29日（火）～9月6日（水）9:00～21:00（最終日15:00終了）

会場：江東区総合区民センター（江東区大島4-5-1）2階展示ホール

料金：入場無料 当日直接会場へ



元加賀公園 壁泉付路床



東陽公園

主催・問合せ 公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団 江東区総合区民センター
TEL 03-3637-2261 FAX 03-3683-0507

この度貴社媒体でぜひ本事業をお取り扱い頂きたく情報をご案内させていただきました。
取材していただける場合は、ご一報いただけましたら幸いです。

【発信元】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

管理課広報担当：村田、伊藤 TEL.03-3644-8119